

平成 20 年度「世界の笑顔のために」プログラム  
要望調査票 -補足説明

1)申請物品名; 中古ミシン

2)申請数; 10 台

3)提供物品の使用場面; 開発省(Ministry of Grama Sanwardana) の事業の一環として行われている「裁縫教室」の修了生が、教室で習得した技術を活かし、内職を始める為に使用

4)対象年齢; 主に 18 歳から 30 歳までの女性

5)裨益効果; 裁縫教室の修了生でグループを作り、そのグループに中古ミシンを譲渡する。修了生はミシンに対し月々定額を支払う。(この場合の受益者、月額、支払い期間等はグループにて決定する) 支払いを終えるとミシンは彼らのものとなると同時に、支払ったそのお金がグループの回転資金となり、繰り返し、新しいミシン、もしくは必要な資機材、物品の購入が可能となる。(物品の購入のみならず、内職を始める資金としての貸付も可能とする) このように回転資金のもととして譲渡することで、一過性の寄付として終わらず、より多くの受益者が生まれ、より持続的な裨益効果を生むことが出来る。現状として、この教室を修了しても、ミシンを購入する資金がない為、習得した技術を収入に結び付けられていない生徒がほとんどである。中古ミシンを手にした生徒が内職を始められるのはもちろんのこと、その後もこの回転資金がより多くの生徒の収入向上につながる事が期待される。また、こうした活動を繰り返し行い、確立、定着させることによって、生徒自身の運営能力も育てることが出来る。この教室にとっては新しい試みであるが、私の配属先オフィスに隣接していることもあり、私自身、頻繁なモニタリング、アシストが可能である。

(補足説明)

裁縫教室について

-開発省(Ministry of Grama Sanwardana)が行う職業訓練事業の一環

-パッチワーク、服の縫製を始め、様々な裁縫技術を教える

-期間は一年間(1月中旬から12月末までの平日)

-受講料無料

-希望者全員対象、平均 15 名程度(受講料無料のため、参加者は極めて貧困層が多いとのこと)